

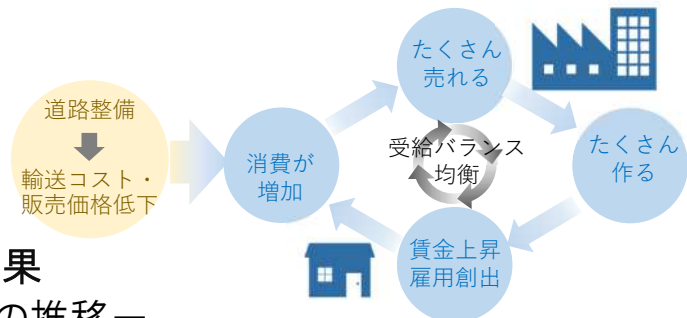
長野自動車道整備による経済波及効果

- 長野自動車道が整備されたことによる経済波及効果(生産額変化額)は1993年の全線開通から30年間で**約3.3兆円**
- 全線開通前と比べて県内総生産は約1.6倍に増加しており、利用台数の増加とともに地域経済が発展

高速道路整備による地域経済への効果

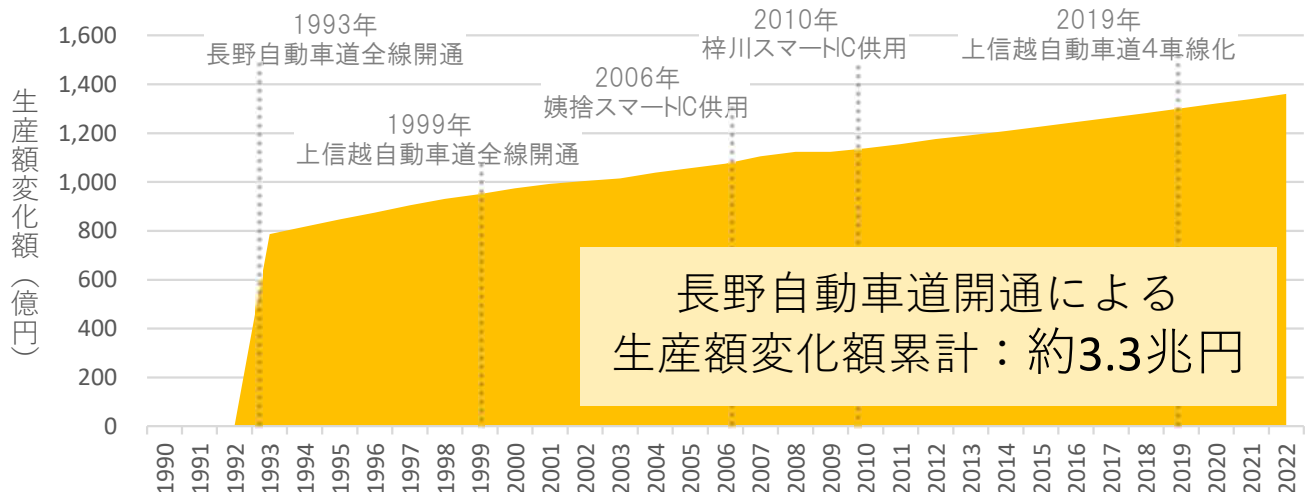
道路整備と経済活動のイメージ図

高速道路の整備により
地域間の移動時間が短くなることで
人口交流・物流が活発になり、
企業の生産活動が活性化します。



長野自動車道整備による経済波及効果

—全線開通後30年間の生産額変化額の推移—



※道路整備による地域間の所要時間の短縮などによる企業の生産性向上などの経済活動の関係をモデル化し、道路整備あり・なしの場合の差を算出したもの。
 ※山梨大学大学院武藤慎一教授監修のもと、空間的応用一般均衡(Spatial Computable General Equilibrium)モデルと呼ばれる地域間の道路整備が交易を活性化させることで生じるマクロ経済的な効果を計測することを目的に開発されたモデルを使用し算出した。
 ※民間企業資本ストックのH27年比を乗じることで30年間の生産額を算出
 ※地域間交易パラメータは、「国土交通省全国貨物純流動調査」の調査票情報より設定

長野自動車道の通行台数と長野県の県内総生産(実質GDP)の推移

